

生成AIで資材レビュー

担当者の業務負担軽減

木村情報技術

木村情報技術は、製薬企業の説明資料などの資材が情報提供活動ガイドラインなどのルールに沿って作成されているかのレビューを、生成AIを活用して支援するクラウドサービスを始めた。レビューの均質化と時間短縮を図る。50スライドだと10

分程度でレビューできるという。製品などの医療従事者向け講演会は、コロナ禍で増えたウェブ経由のほか、リアル会場で行うケースも復活し、全体として増えていると言われる。そのため製薬企業では、説明会用資材のレビューが追いつかない状況が生じ、外部委託するケースも出ている。

そこで同社は、このサービスで担当者がレビューする前に、クラウド上で迅速かつ均質にチェックするシステムを開発した。「MIRA Review」と名付けられたサービスは一次レビューの位置づけで、レビュー結果の最終判断は製薬企業側が人の目で行うことになる。

まずは今月から説明会で

の演者スライドを対象にサービス始めた。今後順次、対象資材を増やす。異なる観点からレビューを行う。

12月には製品情報概要、MRの医局説明会用などの説明会スライド、来年3月には資材中で引用されているデータの元文献との整合性を見るメディカルチェック、同4月にはウェブコンテンツ、動画、患者向け資材・疾患説明資料、同6月にはコールセンターのQ&A資料、製品広告や講演会などの記録集のレビューを始めることを予定している。それぞれの資材に合った独自ルールを組み込んで

導入に当たっては各社の独自ルールによる審査もできる。アニメーションが含まれるパワーポイントも審査できるようにした。また、各社が導入している文書管理支援システムとの連携も図れる仕様になっている。

実装までの準備期間は約2カ月。同社は「生成AIが一貫した基準でレビューを行い、判断のばらつきを抑えることで、審査結果の標準化を実現する」と説明している。